

新築建物に係る再エネ取組強化と廃棄時の対応について

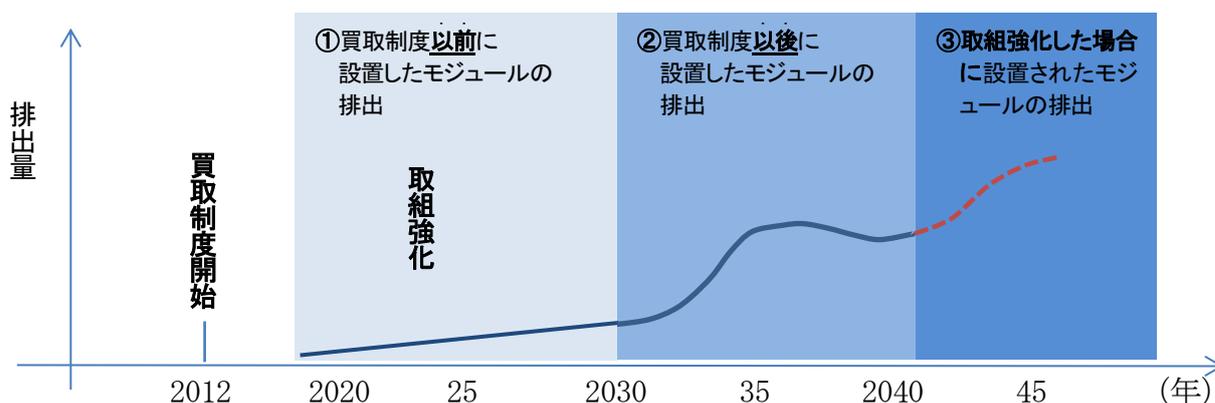
1 再エネ施策に係る議論

- 使用済太陽電池モジュールの排出については、過去に設置されたモジュールの排出が既に始まっており、今後 2030 年代半ばには FIT で設置したモジュールも大量に排出されることが見込まれている。
- それらに加えて、「2050 年 CO₂ 実質排出ゼロ」の実現に向けた関連施策を加速するため、現在、東京都環境審議会において、新築建物を対象として、太陽光発電その他の再生可能エネルギーに関わる取組強化について議論されている（別紙参照）。

2 廃棄時の対応

- 太陽電池モジュール設置の取組強化により、既存のものに加えて、2040 年代半以降には義務化で設置したモジュールも大量排出の時期を迎えることとなる。
- そのため、今後のこうした排出状況を踏まえた使用済モジュールの対応としては、FIT で設置したモジュールの大量廃棄を見据え、まず現在既に廃棄されているモジュールについて、リユース・リサイクルする仕組みを早急に構築のうえ、この仕組みを土台として改善・発展を図りながら、リユース・リサイクルの定着を図っていくことが重要である。

■ 今後の太陽電池モジュール排出動向（イメージ）



<参考>

■ リサイクルのイメージ

